

■部品セット一覧

■本体部品セット

部品名称	把手	把手取付けねじ トラス小ねじ M4×35	丁番カップ (AMB以外)	丁番カップ(ねじ止め) (AMB専用)
呼称				
0720・0723	2	4	8	8

■枠部品セット

部品名称	皿小ねじ M4×50 (枠組立て用)	皿タッピンねじ φ4×50 頭部シート色塗装 (上枠躯体取付け用)	ナベタッピン ねじφ4×40 (枠固定金具取付け用)	戸当り	ナベタッピンねじ 1種φ3.5×16 (戸当たり取付け用)	穴かくし キャップ	丁番座	開き戸 ダンパー	開き戸ダンパー用 スペーサー	トラスタッピン ねじφ4×35 (開き戸ダンパー 取付け用)
呼称										
0709	3方枠 4	※7	4	2	4	4	4	2	4	4
0720・0723	4方枠 8	※7	6	2	4	6	8	2	4	4

※予備用4本含む
※天井納まりには0709用部品セットが2個入っています。(戸当たり2個ダンパー2セットに余りができます)

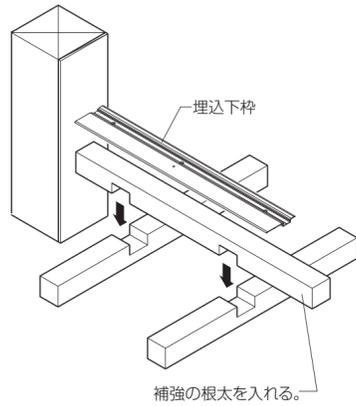
■下枠部品セット

下枠種類	トラスタッピンねじ φ4×25 (薄下枠組立て用)	皿タッピンねじ φ3.5×20 (枠取付け用)	縦枠下部ピース (R/L)	皿タッピンねじ 1種φ4×20 (縦枠下部ピース 取付け用)
埋込下枠				
	-	3	2(R/L各1)	2

■床の張り方

1 埋込下枠下地の確認

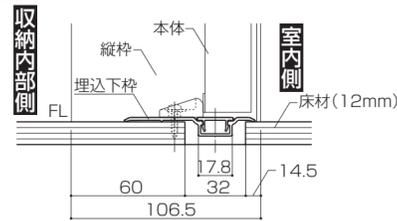
① 枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



2 床張り位置(床の張込み)

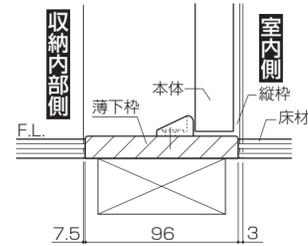
【埋込下枠を使用する場合】

● 下図の位置に32mm(最小開口25mm)あけて床材を張ってください。



【つばなし薄下枠を使用する場合】

● 枠の取り付け後、下図の様に床材を張って下さい。



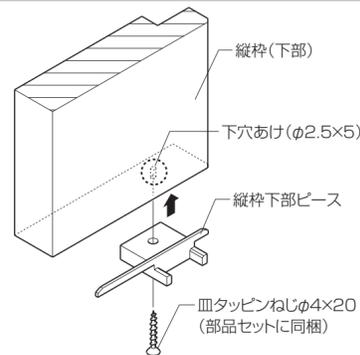
お願い
※床材は必ず図の位置に張込んでください。床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

■取付け詳細

1 枠の組立て

【埋込下枠を使用する場合】

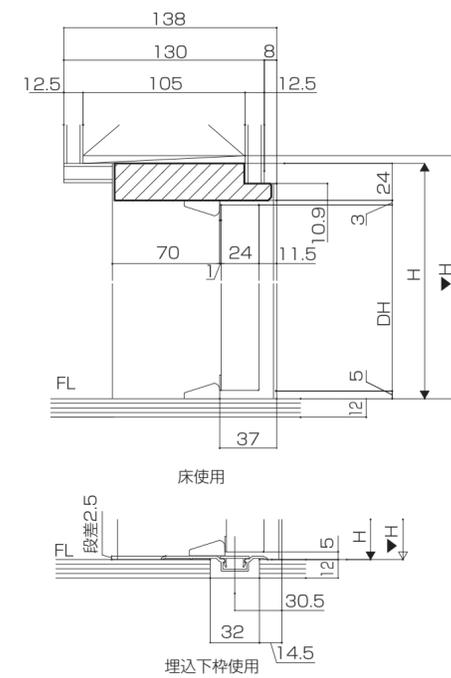
● 縦枠に縦枠下部ピースをねじ(皿タッピンねじφ4×20)で固定します。縦枠に下穴(φ2.5×5)をあけるときは、取付け説明書に載せてある型紙を使用して位置出しをすると簡単にあけることができます。



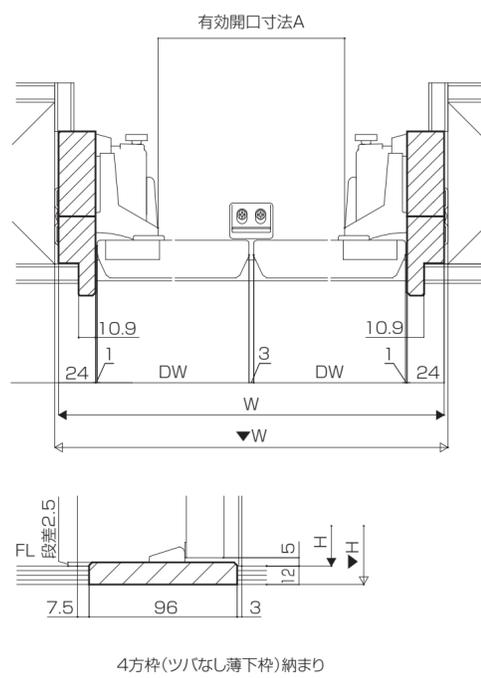
■納まり図

■クローゼット開き戸ユニット(両開き)

●縦断面図



●横断面図



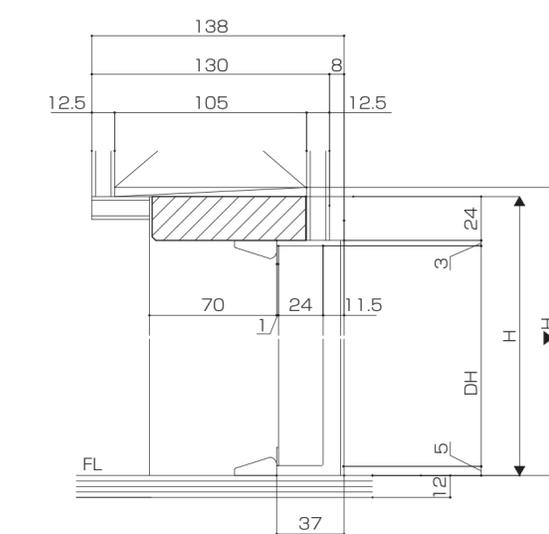
■両開き戸

基本寸法 (mm)	W呼称	07	734(340.5)	H呼称	20	23
	H(DH)	2023(1991)	2306(2274)			

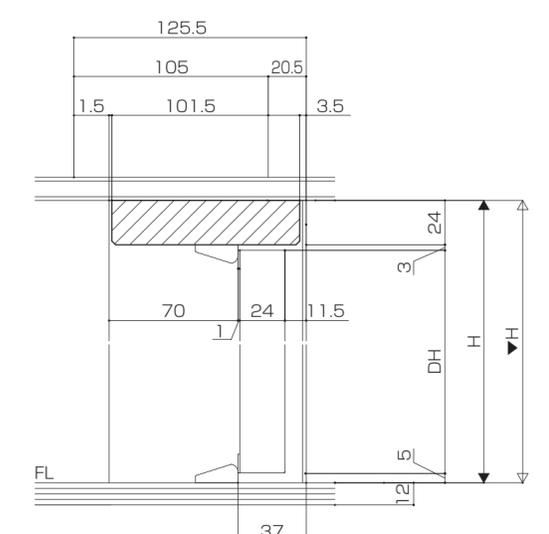
■有効開口寸法A

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W07(734)	605
W08M(824)	695
W12(1183)	1054

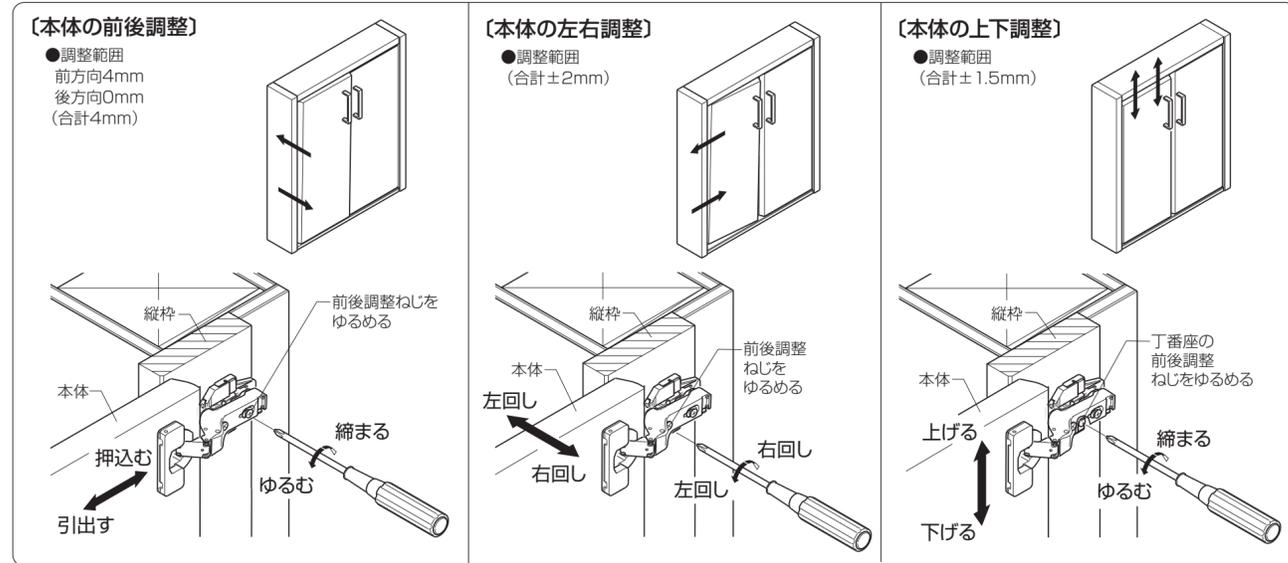
上枠クロス巻き納まり縦断面図



天井納まり縦断面図



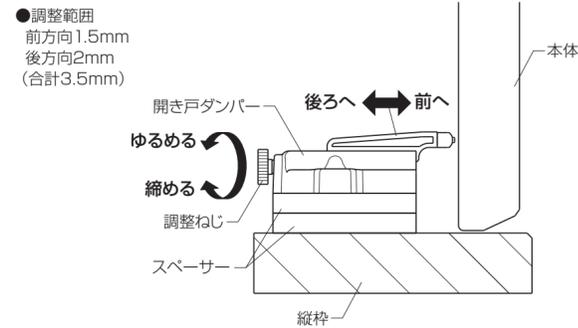
5 本体の建付け調整



6 開き戸ダンパーの調整

- ※開き戸ダンパーの調整は、本体が閉まりきらない場合に実施してください。(閉まりきらない場合、ダンパーを後へ調整します。)
- 開き戸ダンパー後部の調整ねじを手でまわし、調整してください。
- ※調整ねじを締めると前へ、ゆるめると後へ動きます。

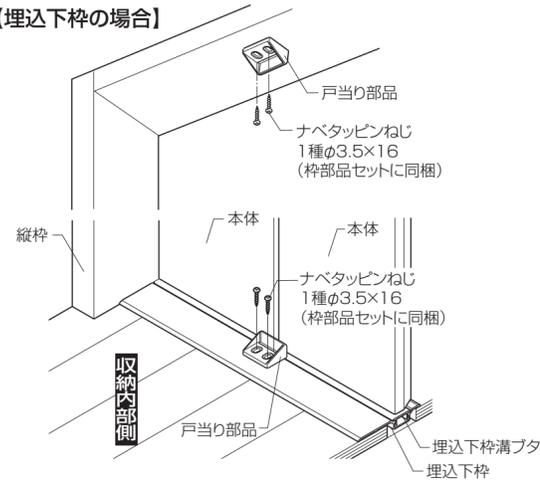
お願い
 ※開き戸ダンパーを前に移動しすぎると、本体が閉まりきらなくなることがありますのでご注意ください。
 ※調整ねじは必ず手でまわしてください。又、ゆるめる方向に範囲をこえて、無理に調整ねじをまわさないください。調整ねじが破損するおそれがあります。



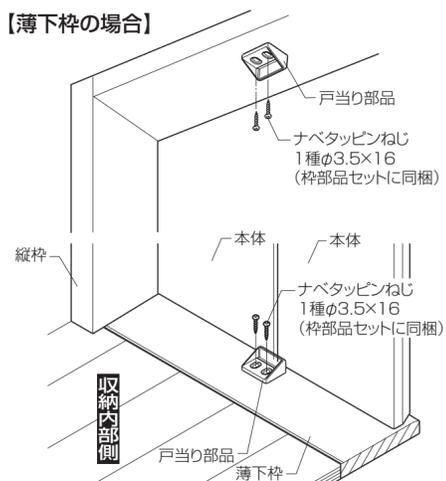
7 下部戸当りの取付け(薄下枠共通)

- ①本体を枠に吊込み、建付け調整を行った後、戸当り部品をナベタッピンねじ1種φ3.5×16(枠部品セットに同梱)で固定します。

【埋込下枠の場合】

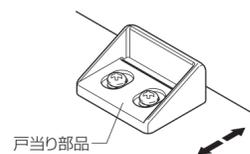


【薄下枠の場合】

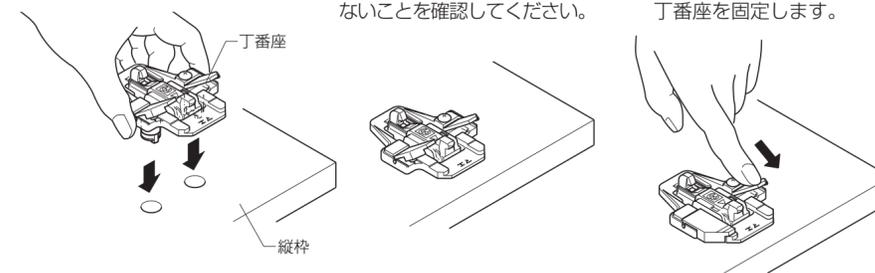


8 戸当り部品の調整

- ①本体の建付け調整を行った後、本体を閉めて戸当り部品とあたっていることを確認してください。
- ※本体と戸当り部品が当たらない場合は、戸当り部品取付けねじをゆるめ調整してください。(調整範囲:奥行き方向に3mm)



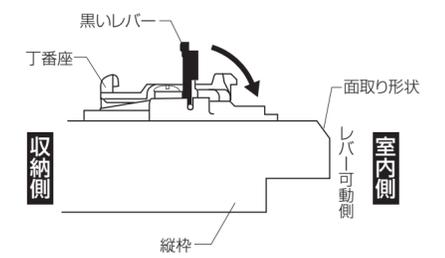
- 縦枠に丁番座を取付けます。縦枠に丁番座を差込みます。



丁番座と縦枠の間にすき間がないことを確認してください。

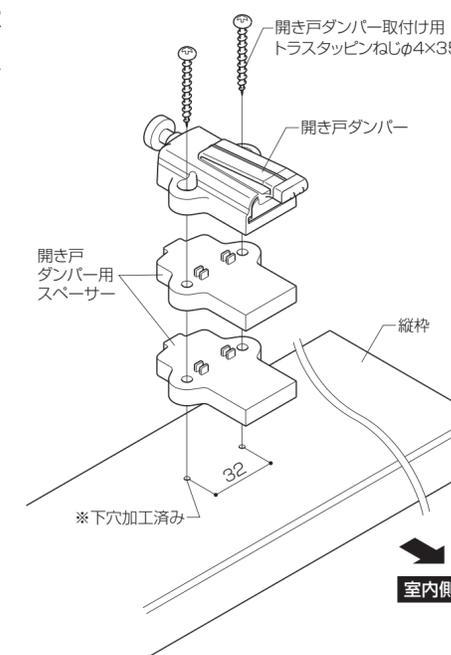
黒いレバーをおろして丁番座を固定します。

- ※丁番座の向きは下図を参照し間違いないようにしてください。

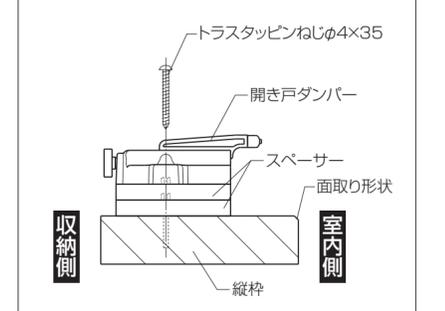


- 縦枠に開き戸ダンパーおよびスペーサーを取付けます。(※下穴加工済み) 開き戸ダンパー1個につきスペーサー2個を重ねて、同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×35)で縦枠に固定します。

お願い
 ※開き戸ダンパーの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。ダンパーが変形し、作動不良を起こす可能性があります。



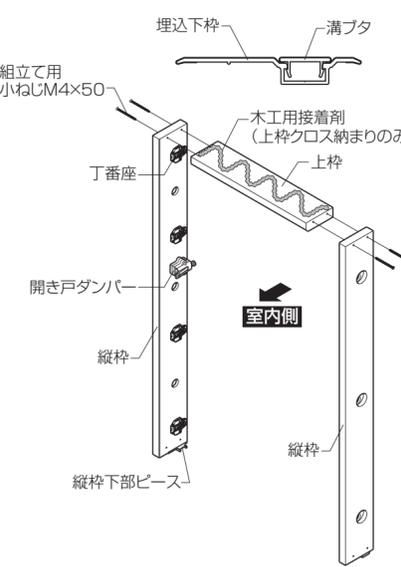
- ※開き戸ダンパーおよびスペーサーの向きは、下図を参照し間違いないようにしてください。



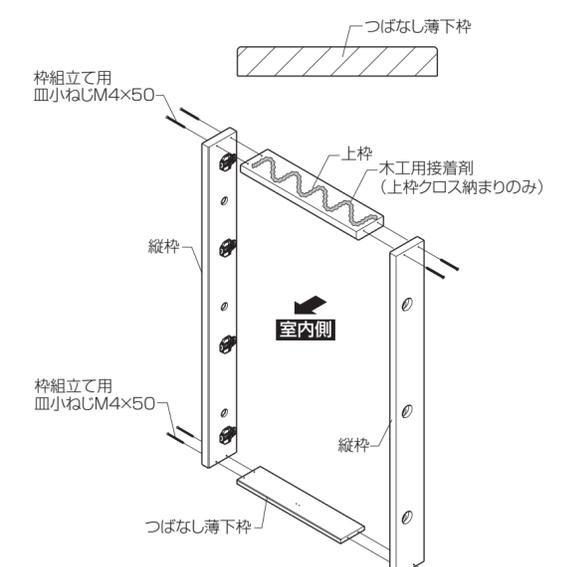
- 右図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。
- 上枠クロス巻き納まりの場合は、上枠裏面に木工用接着剤を塗布してください。
- ※天井納まりの場合は3方枠組立ては行いません。

お願い
 ※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。
 ※上枠をクロス巻き仕上げを行う場合は必ず裏面に木工用接着剤を塗布してください。クロスにシワが発生する場合があります。

【埋込下枠を使用する場合】

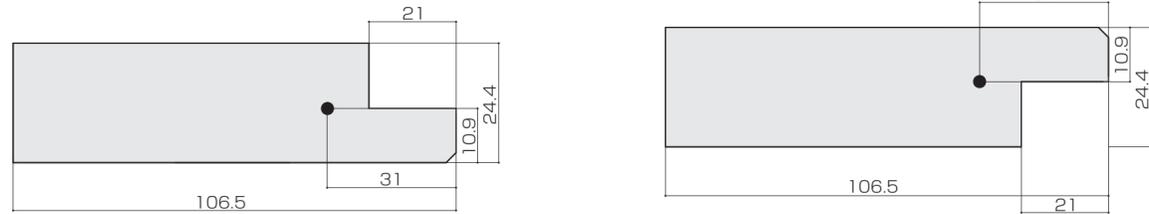


【つばなし薄下枠を使用する場合】



■縦枠下部ピース取付け穴加工用型紙

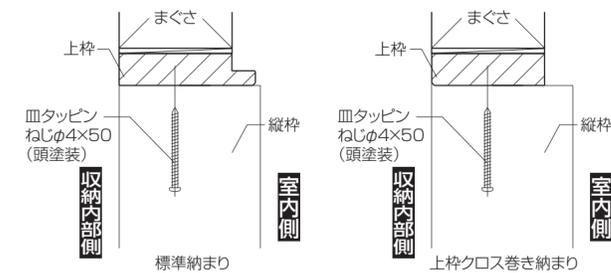
●スマート枠(下穴φ2.5×5)



■枠の取付け

【標準納まり、上枠クロス巻き納まりの場合】

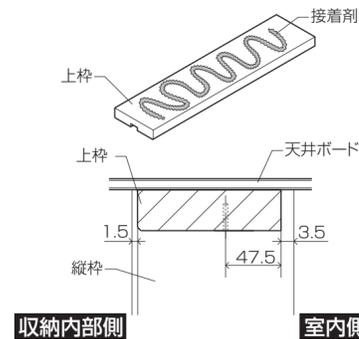
- ①組立てた枠を開口部に入れます。
 - ②縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に2~3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
 - ③枠の垂直を確認してください。
 - ④固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
 - ⑤枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじを固定してください。
 - ⑥枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
 - ⑦再度、枠の垂直を確認してください。
 - ⑧上枠は、かい木を入れて水平になるように調整した後、固定ねじ(皿タッピンねじφ4×50)で締め付けてください。
- ※縦枠の固定個所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用ねじ(皿タッピンねじφ4×50)で固定してください。



【天井納まりの場合】

- ①縦枠のみはじめに取り付けます。縦枠に取り付けられている枠固定金具(縦枠に4個)にて取付けを行ってください。(取り付け詳細は標準納まりと同じです)
 - ②上枠裏面に木工用接着剤を塗布して固定ねじ(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。
- ※戸当り取付け穴位置が47.5mm側が室内側になります。

お願い
※必ず裏面に木工用接着剤を塗布してください。MDFが縮みクロスにシワが発生する事があります。



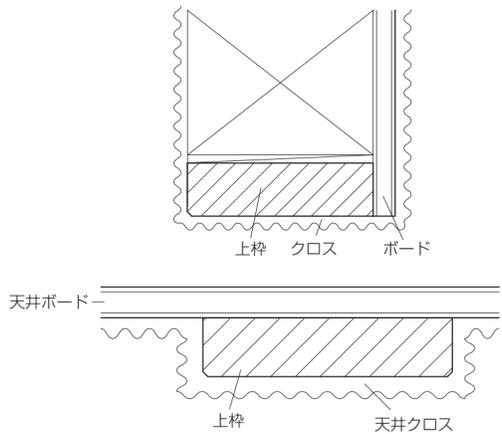
■上枠をクロスにて仕上げる(特別対応品)

【上枠クロス巻き対応の場合】

- ①壁ボードを施工後に壁クロスにて上枠を巻き込むように仕上げを行います。
 - ②上枠は、クロス貼り可能な紙シートにてラッピングしていますので通常のクロスノリにて、クロスを貼る事が出来ます。
- ※必要に応じて、ボードコーナ処理やボードと枠のスキ間のパテ処理を行なって下さい。

【天井納まり対応の場合】

- ①天井クロスにて上枠を覆うように仕上げを行います。
- ②上枠は、クロス貼り可能な紙シートにてラッピングしていますので通常のクロスノリにて、クロスを貼る事が出来ます。



■本体の吊込み

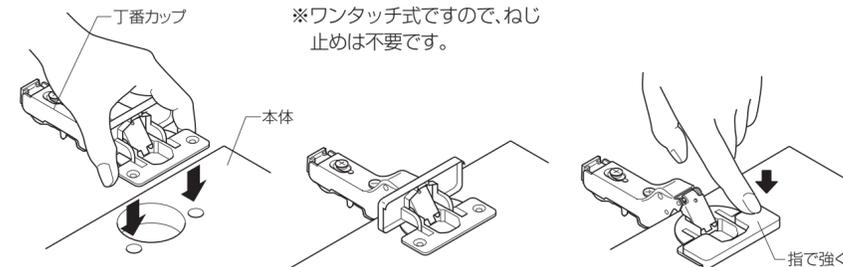
【AMBデザイン以外の場合】

①丁番カップの取付け

丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。

※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。

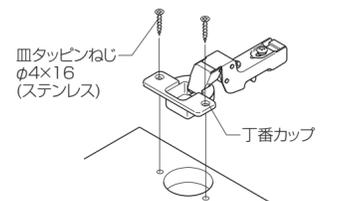
本体と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまで強く押込んでください。



【AMBデザインの場合】

- ①丁番を、同梱のねじで本体に取り付けます。
- ※ねじが曲がらないように、必ず手回しで取付けてください。ねじが曲がると、本体が固定できなくなりますので、ご注意ください。

注意
●丁番カップは本体に指定のねじでガタツキがないように固定してください。ねじの締め忘れ・ゆるみなどは本体の落下の原因となります。



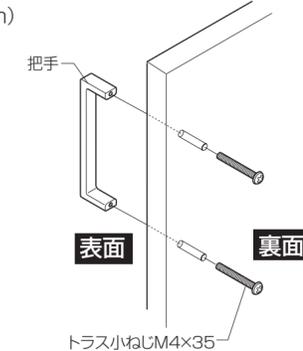
②本体の左右勝手の確認

- 本体の下端より上下把手穴中心までの寸法が917mmになります。(H09は756mm)



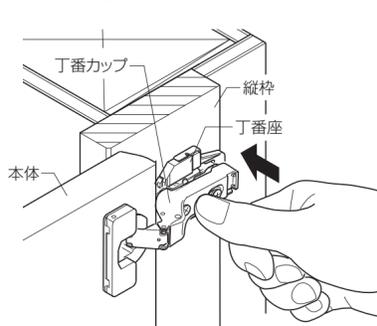
③把手の取付け

- ※把手セットは本体に同梱されています。

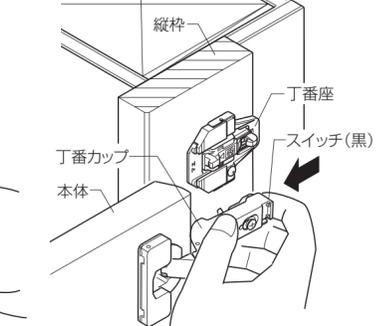


④本体の吊込み条件

- 本体の丁番カップを縦枠の丁番座にセットし、上から押込むだけで簡単にセットできます。



- 取外す場合は、先端のスイッチ(黒色)を押込むと外れます。



注意
●本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。

- ※H18(3枚吊り)、H20、H23(4枚吊り)の場合、最初に中間の丁番を取付けてから、端部の丁番を取付けてください。
- ※本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。